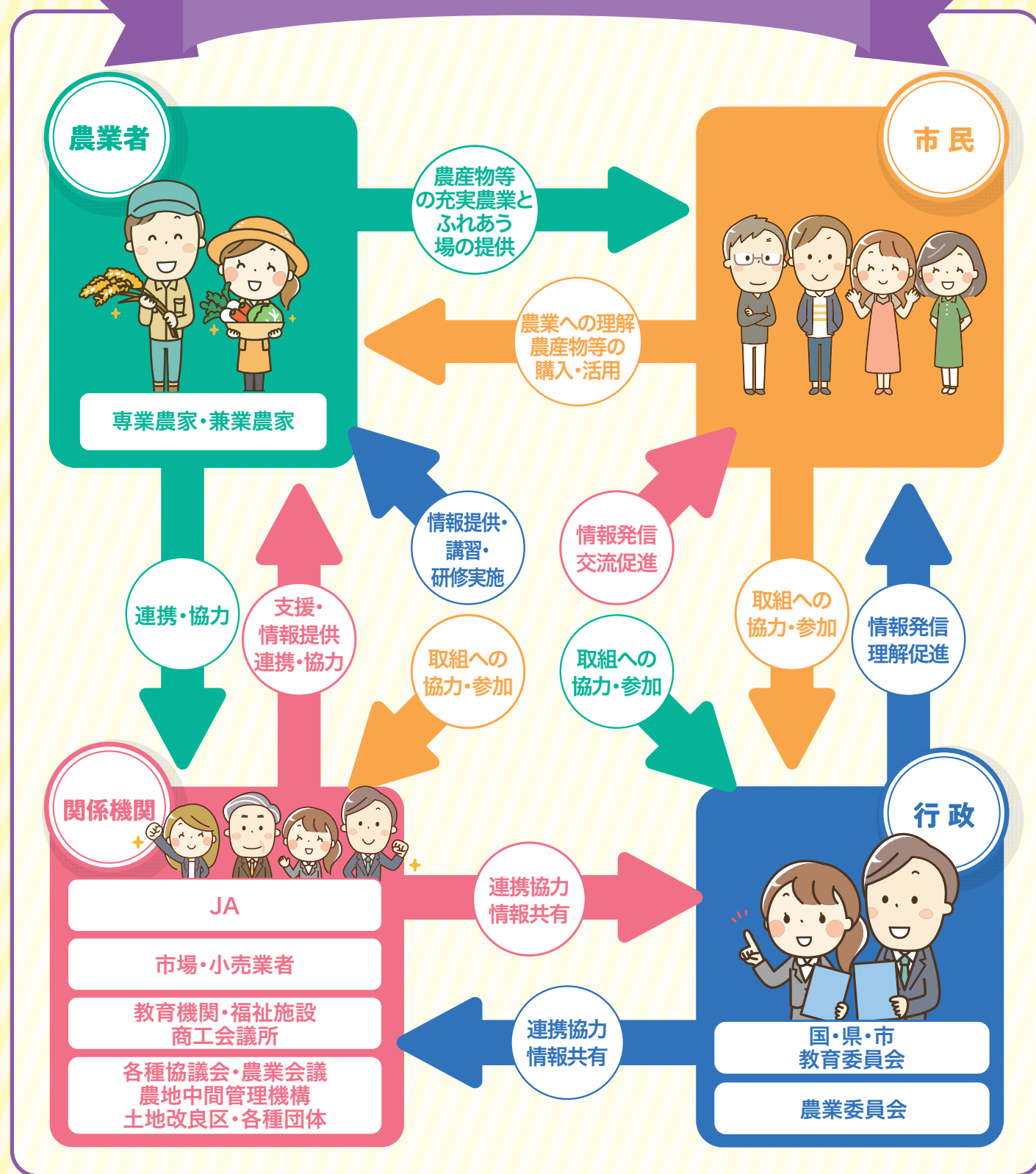


計画の推進体制



第2次 草津市農業振興計画

【概要版】

目標
年度

令和
14年度
(2032年度)

令和4年 3月策定
(2022年)

計画策定の趣旨

草津市における農業の振興に関する方向性や、具体的な取り組みを計画的に推進し、さらなる農業の成長やまちの発展を目指します。

計画策定の背景

現在、農業者の高齢化や減少、宅地化の進展等といった要因によって、農地が減少するなどの傾向があることに加え、気候変動の影響等、新たな脅威も懸念されています。

一方で、AI、IoT等の技術革新による生産性の向上や、グローバル化による海外マーケットのさらなる拡大等、農業の成長産業化が進行しており、また、様々な人材が農業に関わる「田園回帰」の動きもみられるようになってきています。

本市における施策・事業の推進状況を踏まえ、農業を取り巻く環境の変化に対応するため、「第2次草津市農業振興計画」を策定しました。

未来につなぐ草津の『農業』 『農』がうるおす健幸なまち

農業者、市民、関係機関、行政等の多様な主体が農業に関わることによって、草津の農業を次世代につなげていくとともに、『農』の活用を教育、観光など多様な分野に拡大し、草津の暮らしに広く浸透することで、健やかで幸せに過ごせるまちの実現を目指します。

基本方針 1

農地の保全と生産基盤の強化

草津市の農業を次世代へと継承し、持続的に発展させていくために、土地改良施設の計画的な改修を進める等、農地の保全に努め、効率的な営農環境を維持します。また、農業者、土地改良区、行政等、様々な主体が連携し、農地の活用を円滑に進めるための基盤の強化を進めます。

成果目標	担い手への農地集積率	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		54.8%	65.0%	75.0%
	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業取組団体の活動面積	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		526ha	545ha	598ha

基本施策	取組事業
① 効率的な営農環境の整備	●土地改良事業の推進 ●土地改良施設の計画的な更新 ●土地改良施設の適正管理の推進
② 計画的な農地保全と活用の推進	●優良農地の保全 ●有害鳥獣対策の推進 ●耕作放棄地の解消 ★農地の集積・集約化【新規】
③ 農地の多面的機能の発揮	★地域ぐるみで農地保全活動の推進 ●農地の多様な活用の推進

※重点事業は★

基本方針 2

人材の確保・育成と農業経営の強化

経営形態の法人化や農業に関心を持つ方、女性の農業への参画推進等により、幅広い人材の確保に努めます。また、農業所得の向上に向けて、スマート農業や高収益作物の栽培の推進等により、農業経営基盤の育成・強化を進めます。併せて、産地の認知度向上や高付加価値化の取組により、草津市産農産物が広く求められ、消費拡大および農業者の収益向上につながるよう努めます。

成果目標	認定農業者数	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		61経営体	66経営体	72経営体
	高収益作物の耕作面積	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		75.9ha	82.5ha	94.5ha

基本施策	取組事業
① 多様な人材の確保	●新規就農者の受け入れ体制の整備【新規】 ●就農定着に向けた支援の充実【新規】 ●女性農業者の参画の推進【新規】
② 活力ある担い手の育成	★支援制度の活用推進 ●農業経営に関する研修・講習の実施 ●中・小規模農家の支援 ●経営継承の推進【新規】
③ 生産性向上と販路の拡大	●スマート農業の推進【新規】 ★農業所得の向上 ●GAPによるより良い農業経営の実現 ●気候変動、感染症等リスクへの対策強化【新規】
④ ブランド強化の推進	●草津ブランドの強化【新規】

基本方針 3

『農』を通じたつながりの拡大

関係機関が連携し、市民が「農」や農産物の「魅力」や「良さ」、農地の持つ「多面的機能」への理解と共感を深めることで、『農』を通じたつながりの拡大に努めます。また、消費地も有する草津市の特性を生かし、環境と調和した豊かな市民生活を創造します。

成果目標	地元の農産物を購入するよう心がけている市民の割合	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		51.9%	55.0%	60.0%
	農業体験に参加した人数	R2(現況)	R8(中間)	R14(目標値)
		1,747人	2,000人	2,300人

基本施策	取組事業
① 地産地消の推進	●草津市産農産物の流通拡大 ★草津市産農産物の利用拡大
② 情報発信・ふれあいの機会の推進	★情報発信の充実 ●市民農園の活用推進 ●グリーンツーリズムの推進【新規】 ●家庭菜園・ベランダ菜園の推進【新規】 ●農業振興拠点施設の機能の拡充【新規】 ●即売会等の実施 ●食農教育の充実
③ 異業種連携の強化	●関係機関との連携強化 ●農福・農商・農学の連携強化【新規】
④ 環境に配慮した農業の推進	●環境保全型農業の推進 ●資源循環型農業の推進【新規】